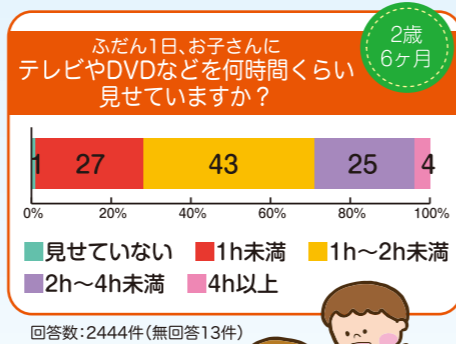
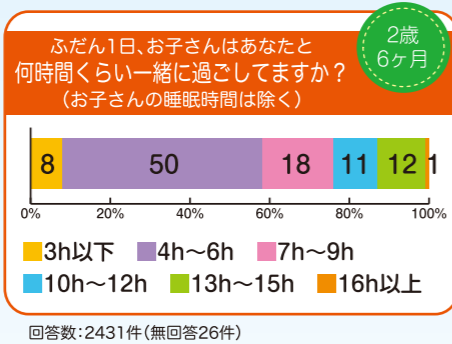
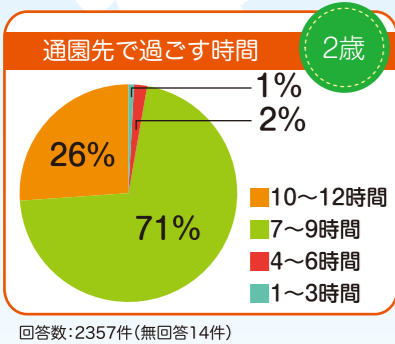
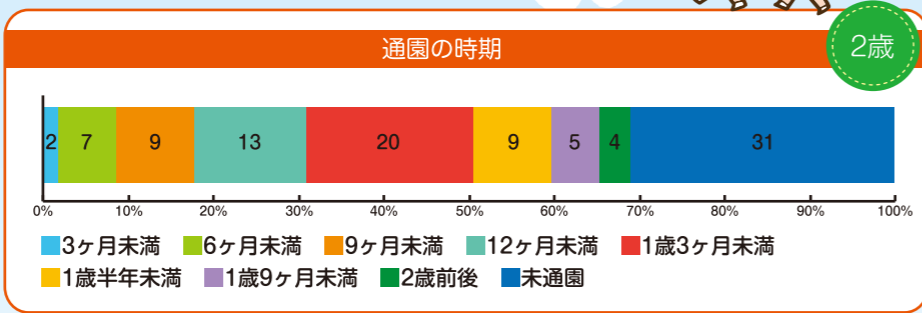
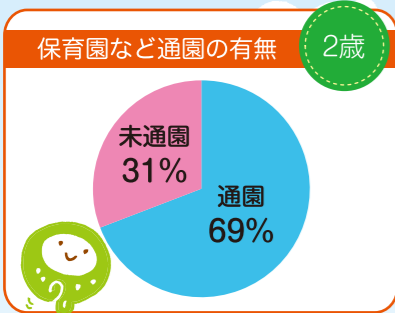


お子さんと過ごす、大切な時間の役割とは？

こうちエコチル調査では2歳未満で保育園に通園するお子さんが69%でした。統計局の都道府県別データでも、高知県で25～44歳の育児をしている女性の有業率は7割近くで、全国でも7番目に、小さいお子さんの育児をしながらお仕事をされているお母さんの率が高いという結果となりました。お子さんと過ごす時間は76%の方が7～9時間以内、4～6時間の方が一番多く全体の半数でした。テレビやDVDを見せている時間に関しては、全国データとほぼ同じ数値です。親子の関係では、時間の長さに関わらず、一緒に過ごす時間の質が大切だと言われています。短時間であっても、家庭的な雰囲気を味わい、家族との団らんの時間を楽しむことが、子どもの心の成長につながります。



子育てを振り返り...

私には高校生の娘がありますが、「育児・子育て」となると少々昔の懐かしい出来事です。

娘が乳幼児期は毎日夜泣きがあったので、診察や健診のついでに小児科の先生に相談すると、「大人になっても夜泣きをしている人なんていないんだから、大丈夫!」と相手にされず、悲しくなりました。

今となっては本当に先生のおっしゃる通りで、4歳には夜泣きが治まりました。また、別の先生からは「きっと一日を持って余しているのだから、幼稚園か保育園に早く入園させてはどうか」というアドバイスをいただきました。

そんな中で利用したのが、広告チラシで目にした開放保育園です。結局、私は娘を3歳で入園させましたが、同じ年の子どもはほとんどがすでに入園済みでしたので、少し出遅れた感じがありました。今はインターネットで少し調べれば、いろんな子育て情報が検索できます。市町村の保健センターを検索するとお母さんとお子さんの情報交換の場所があり、保健師さんも在中していたりするので多方面でのアドバイスがいただけます。子育て中のちょっとしたお悩み解決に、利用してみてください。



こうちエコチル調査スタッフ 武市 ゆきの

お問い合わせ

◆エコチル調査コールセンター〈全国共通〉
☎ 0120-53-5252 | 年中無休 | 9:00-21:00 |
◆エコチル調査ホームページ
エコチル調査 検索
http://www.env.go.jp/chemi/ceh/

◆高知エコチル調査に関するお問い合わせ〈高知県〉
登録された内容に変更があった場合は、下記までご連絡ください。
TEL 088-880-2173 | 土・日・祝日をのぞく | 9:00-17:00 |
mail info@kochi-ecochil.jp
こうちエコチル 検索 http://kochi-ecochil.jp/
| 高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局 |
〒783-8505 南国市岡豊町小連
| 高知大学内 朝倉分室 | 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1



※注意 この結果は2015年9月末時点のこうちの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です



December 2015

エコチル調査 報告書



こうちエコチル調査で分かってきたこと

エコチル調査にご参加いただいている皆さん、日頃のご協力ありがとうございます。半年ごとに皆さんが書き込んで送っていただいた調査票から、環境要因と子どもたちの健康についての分析が少しずつ始まっています。エコチル調査についての計画や開始した時点での全体像については、世界の研究者に読んでもらえるように英文で研究論文を発表しました。高知ユニットセンターでも、小児科、産婦人科、精神医学、環境医学など様々な分野の専門家が知恵をしぼって研究を進めています。

今回は高知での2歳6ヶ月までの調査内容を元に、いくつかの項目についてまとめてみました。

日頃の子育てにお役に立てる情報も含まれていますので、是非、目を通してみてください。

皆さんからの感想や「こんなことが知りたい」というご要望も是非お送りください。高知ユニットセンターの私たちも皆さんから提供して頂いた貴重な情報をしっかりと分析して、高知の子どもたち、日本の子どもたち、世界の子どもたちの健康を守るための出来る環境の確保につながる研究を発表していきます。皆さまの引き続きのご協力と応援を宜しくお願いいたします。

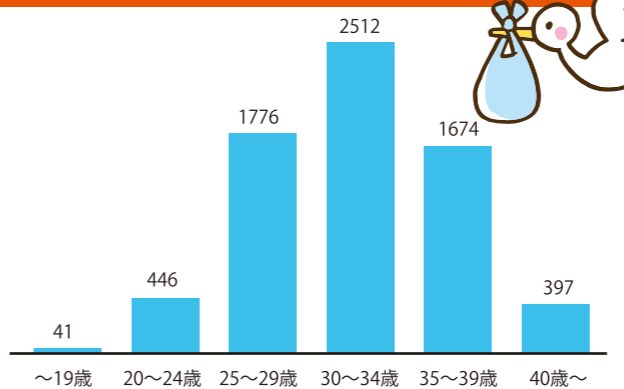
高知ユニットセンター長

菅沼 成文

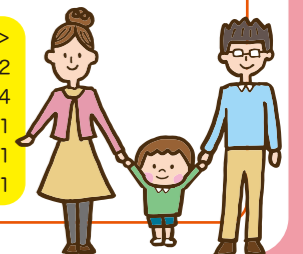
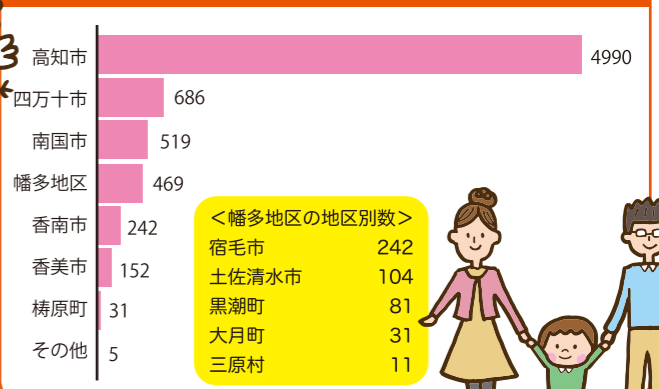


エコチル調査とは、環境省が主体となって行なっている「子どもの健康と環境に関する全国調査」の愛称です。北海道から沖縄まで、全国15ヶ所の拠点で2011年より始まりました。全国で10万人、高知では約7000人の妊婦さんに参加登録をしていただき、おなかの赤ちゃんが13歳になるまでその成長を見守っていく調査です。2015年12月現在、間もなく4歳半になるようとしているエコチルキッズを先頭に一番下は1歳のお子さん達が後を追っています。今回は半年に一度お答えいただいている質問票の中から、こうちエコチル調査でわかってきたことを抜粋してお伝えします。

こうちエコチル参加者母の年齢(出産時の母の年齢)



地域別の参加人数

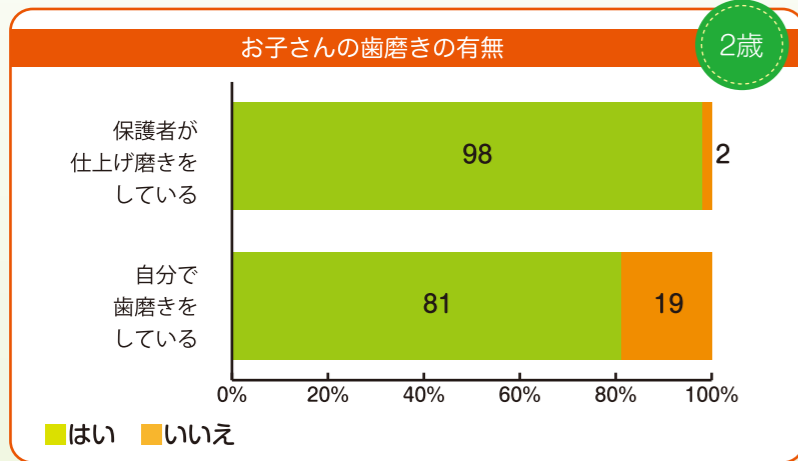


※注意 この結果は2015年9月末時点のこうちの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です

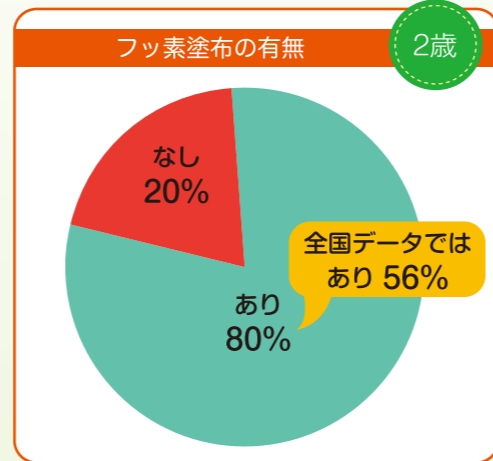
お子さんの歯の健康について



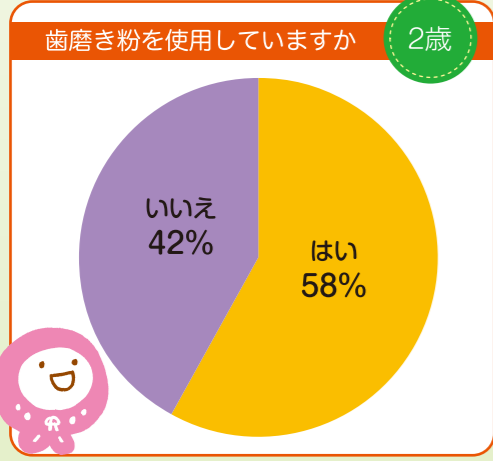
現在までに回収が終わっている2歳児の高知の質問票、3439件からの集計結果です。乳歯がだんだんはえてきて、多くのお子さんが幼児食に移行し、おやつを食べる機会なども多くなる時期ですね。高知の集計データでは、歯磨きを自分でされているお子さんが8割にのびります。保護者によるお子さんへの仕上げ磨きはほぼ全員に近い方がされています。フッ素塗布の有無は2歳質問票、全国データの56%のお子さんがフッ素塗布有りという結果と比べても、高知は80%という高い結果でした。小さいお子さんでも歯磨きやフッ素による虫歯予防が大事と言う認識が、高知では高いということが見て取れます。乳幼児健診などでの積極的な取り組みが影響しているようです。2歳の次には4歳の質問票で歯のことをうかがっています。このような長期的な追跡調査から、歯磨きやフッ素塗布が歯や歯ぐきの健康にどのような影響を与えているか明らかになってくるでしょう。



回答数:3432件(無回答5~7件)



回答数:3433件(無回答6件)



回答数:3431件(無回答8件)

歯のはじめてケア ~乳歯のときから大切に

赤ちゃんの歯は生後6か月頃から下の前歯から生えはじめます。そして、2歳半から3歳ごろまでに全部で20本の乳歯が生えそります。歯磨きは下の歯が生え始めたら始めなければなりません。この時期は、磨くというよりも歯ブラシに慣れさせる感で行って下さい。1歳ごろから食べる物が増え、甘い物や挟まりやすいものを食べるようになります。したがって、この時期には寝る前の歯磨きを習慣付けるとともに磨いているかチェックして仕上げ磨きをしてあげて下さい。また、食べ物やおやつをダラダラ食べると常に歯が溶けやすい状況になるので、決まった時間に食べる習慣や食べた後は歯を磨く習慣をつけさせましょう。

生えてきたばかりの歯は弱く、もっとも虫歯になりやすいため、フッ素により歯を強化することが有効です。それには、年に数回の歯科医院でフッ素を塗ってもらったり、フッ素入りの歯磨き粉やうがい液を使うことも有効です。歯科医院で相談してみましょう。

高知大学歯科口腔外科
歯科衛生士 寺尾 加代子



※注意 この結果は2015年9月末時点のここの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です

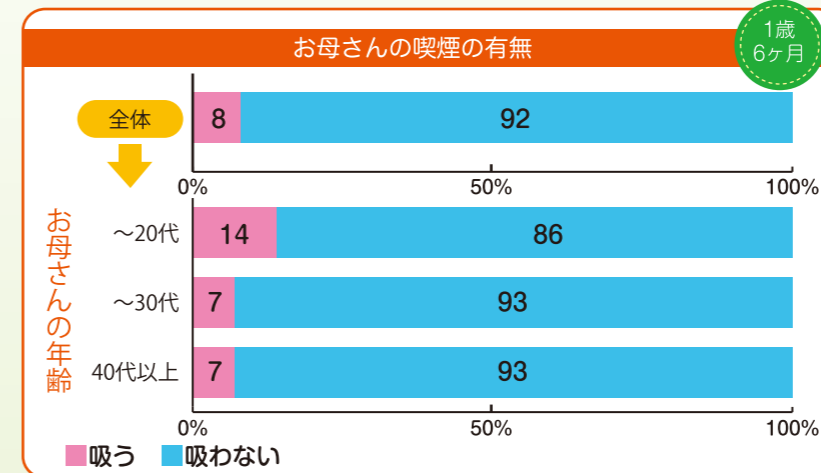
たばこについて



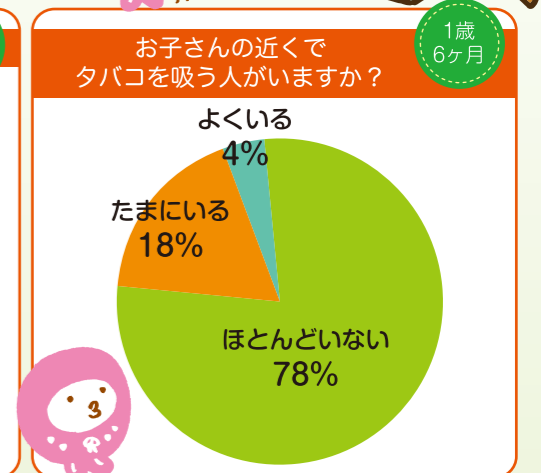
たばこは吸っている大人の健康を害するだけでなく、一緒に住んでいる子どもたちにも煙を吸わせてしまうことになり、喘息をはじめとした子どもたちの病気の原因であることが知られています。

「エコチル調査だより8号」で喫煙についての全国の集計結果をお伝えしましたが、高知のデータを紹介します。お母さん全体の喫煙率は全国データと同じ8%でした。お母さん以外にお子さんの近くでタバコを吸う人が「たまにいる」「よくいる」を合わせると全体の22%でした。お父さんについての質問では29%のお父さんが喫煙者という結果でした。タバコを目の前で吸わなかったとしても、たばこの煙は漂っています。受動喫煙に気をつけましょう。「エコチル調査だより7号」の健康コラムに受動喫煙について詳しく掲載されています。合わせてご覧下さい。「エコチル調査だより」のバックナンバーは環境省HPの下記リンクを御覧下さい。

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/participants/index.html>

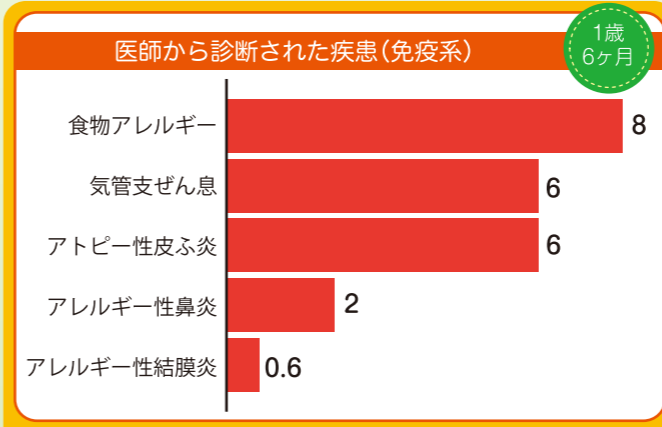


回答数:4543件(無回答15件)



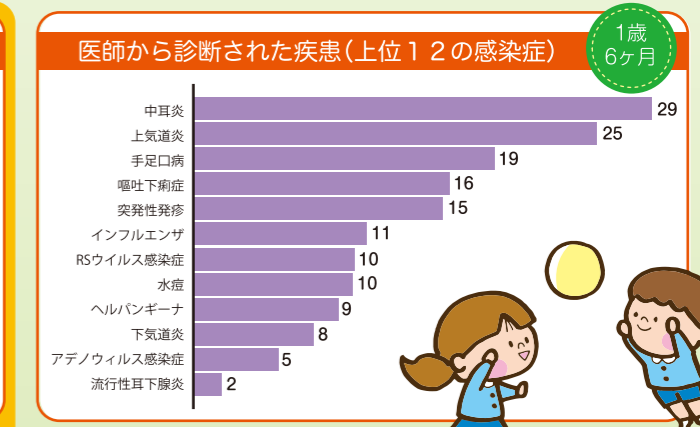
回答数:4509件(無回答49件)

子どもの疾患:アレルギーと感染症について



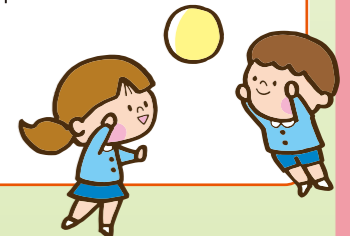
回答数:3439件

1歳6か月児の8%に食物アレルギー、6%に気管支喘息がみられました。今後、化学物質の曝露などの環境要因や両親の喫煙などの生活習慣要因がアレルギー疾患にどのような影響を与えているかエコチル調査で幅広く調べていきます。



回答数:3439件

子どもはとくに生後6か月から3歳くらいまではよく発熱し、発熱のほとんどが感染症によるものです。中耳炎、上気道炎(かぜ)、手足口病などが上位を占めました。0~1歳の乳幼児に多いといわれる突発性発疹も15%みられています。



※注意 この結果は2015年9月末時点のここの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です